

全国学力・学習状況調査の結果より

敦賀市立角鹿小学校

4月18日に、6年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。本校の6年生は、国語・算数において県平均・全国平均を上回る結果となりました。結果から見えてきた角鹿小学校児童の特徴についてお知らせします。

今回の調査で見えてきた課題を克服し、成果をさらに伸ばしていけるように、学校全体で取り組み、さらなる向上を目指していきます。

1 教科に関する結果から

◎国語

【特に正答率の高かった設問】

- 文章の種類と特徴について理解する問題
- 話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心をとらえる問題(インタビュー)

【課題】

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように条件に合わせて書き出し方を工夫すること
(下記の問題)

【対策】

- ・教科学習のまとめの場面だけでなく学級会など話し合う際にも、図表やグラフを用いて表現する場をより多く設定していきます。
- ・自分の考えを書く場面では、指定された条件を意識しながら書く機会を増やしていきます。
- ・より条件を意識できるよう、書き上げたものをお互いに読み合い批評する場面を増やします。

（条件）

- 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分かることを書くこと。
- 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
- 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

問題

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがい雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとイくらべてみました。ウきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

10があたり1kgの雑草を取って同じ大きさのバケツに入れ、その個数を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」のようになっています。あなたが川村さんなら、に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【カード①】

6月24日

- ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
- ・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいしようするのではないかと心配だ。

【カード②】

6月30日

- ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えた。
- ・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
- ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
- ・調査きかん 7月1日～15日

【カード③】

7月19日

- ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが足りないのではないかと考えられる。
- ・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。

【カード④】

7月20日

【農家の石山さんのお話】

- ・雑草に栄養をどられると、米のしょうかくが減る。
- ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
- ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日

【学校でできる解決方法】

- ・雑草取りの回数を増やす。
- ・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときも記憶していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

正答の条件 以下の2つの条件を満たしている必要がある。

⑦【川村さんの文章】のグラフから分かること、【カード④】から分かることが書いてある。

④問題点の解決方法について【カード⑤】をもとに書いてある。

◎算数

【特に正答率の高かった設問】

- 数量の關係に着目し、変化の特徴を読み取ったり説明したりする問題
- データを活用し、違いを読み取る問題（複数の棒グラフの組み合わせに関する問題）

【課題】

図形の面積の大小を判断し、その理由を数学的な用語や数を用いて記述すること
(下記の問題①)

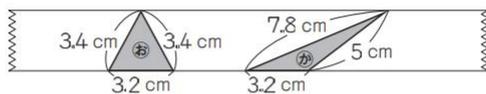
百分率で表された割合について理解すること
(下記の問題②)

【対策】

- ・ 授業の中で、理由を述べたり、書いて説明したりする活動を充実させます。
- ・ 底辺、高さ、辺の長さや角の大きさなどに着目し、図形の意味や性質を基に、数学的な用語を正しく用いて説明する場をつくります。
- ・ 割合についての理解が深まるように、日常の場面に対応した割合の問題を取り入れます。
- ・ ノートに図や式などを書いたり、基準量と比較量の關係を表に書いて表したりするとともに、問題場面を具体的にイメージさせ、理解が深まるようにします。

問題①

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

(正答) 3

- ㊸2つの三角形の底辺の長さが等しいことを表すことばや数
㊹2つの三角形の高さが等しいことを表す言葉
両方を説明の中で記入することが必要である。

問題②

(1) 30%について考えます。割合が30%になるものを、下のアからオまでの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

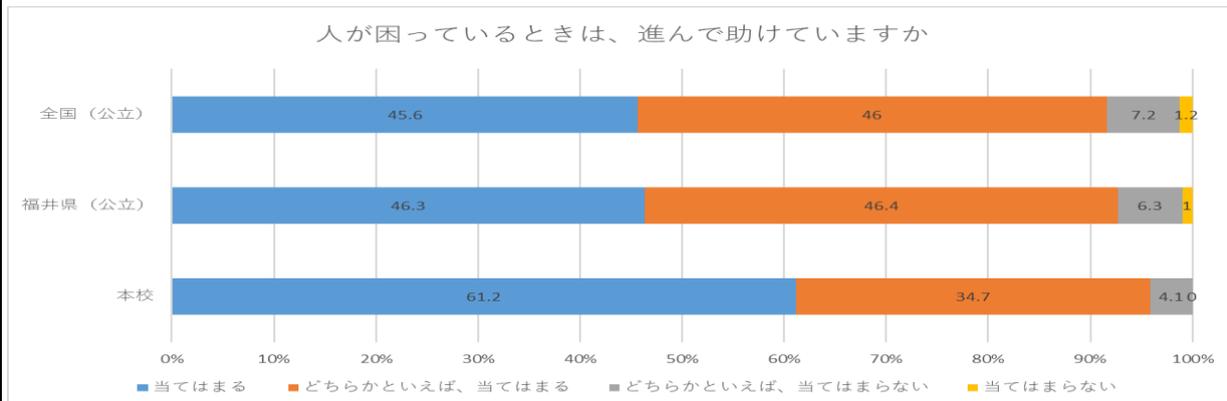
- ア 100人をもとにした0.3人の割合
- イ 100人をもとにした3人の割合
- ウ 100人をもとにした30人の割合
- エ 10人をもとにした3人の割合
- オ 30人をもとにした1人の割合

(正答) ウとエ

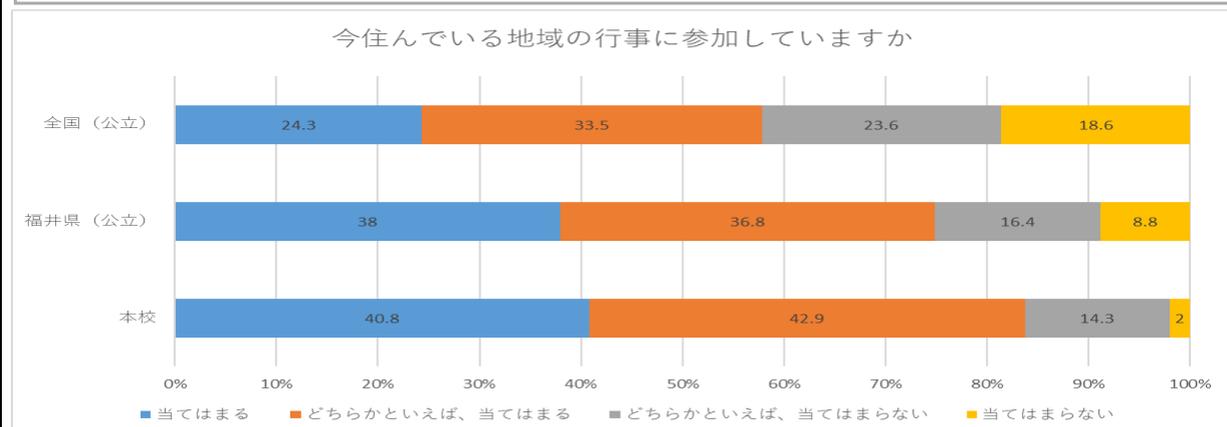
本設問では、示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを2つ選ぶ必要がある。

2 学習状況調査より

【特に良好であった点】



「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」などの項目で、「当てはまる」と答えた児童の割合が高く、本校が取り組んでいる「ポジティブ教育」や小中間での交流の成果が表れていると思われます。



本校の児童は、地域の行事への参加も多いことが分かります。日頃より、地域の教育資源を活かし、地域の方とのふれ合いを大切にされた成果であると受け止めています。今後も地域の伝統や文化への理解を深め、多くの学びを得る機会を大切にしていきたいと考えます。

【課題】

- ・生活リズムが崩れやすい。
- ・家庭での学習時間が短い。
- ・本や新聞などを読む時間（機会）が少ない。
- ・将来の夢や目標が持てない。



【対策】

- ・生活リズムの重要性について考えられようように支援していきます。
- ・本や新聞記事に触れる機会を計画的に取り入れ、新しい知識や情報に触れる楽しさを感じられるようにします。
- ・キャリア教育に力を入れ、自分の将来について考える機会を増やします。

今後も、教職員一同力を合わせて、[学校教育目標 これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成の実現]に努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。